

台風14号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり、台風14号は週末にかけて日本列島を進む予報が出ております。台風14号は中国・韓国でも港湾・空港でのスケジュールに影響を及ぼしております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

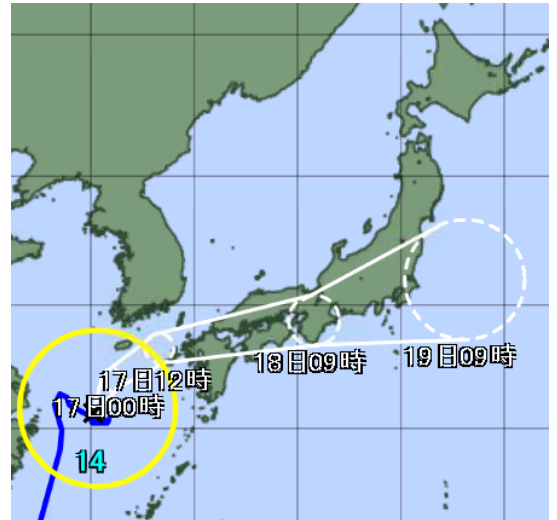
1. 台風14号の進路予想

9月16日(木)12時50分の気象庁予報部発表によると、台風14号は、長崎県五島市の西南西420kmにあつて、ほとんど停滞しています。中心の気圧は990hPa、最大風速は25m/s、最大瞬間風速は35m/sで、中心の北東側390km以内と南西側330km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いています。

台風14号の予想進路図が変わり、台風のまま日本列島を通過する予想となりました。17日(金)に九州に接近し、その後、18日(土)の朝には近畿地方に進み、そのまま縦断し、19日(日)に日本の東で温帯低気圧に変わる予想です。

東京湾周辺では強風となるおそれがあり交通機関への影響が懸念されています。また、冷たい空気と暖気が衝突する北陸や東北地方など、広い地域で大雨の懸念が高まっています。土砂災害・低い土地の浸水・河川の増水にご注意ください。

今後も最新の気象情報に注意頂き、早めに前広な事前対策をお願いします。



台風14号の進路予想 (9/16午後12時50分気象庁発表)

2. 台風接近エリアの物流への影響

台風14号の影響により、上海港・寧波港では一時荷役停止し14日からターミナルの稼働を再開しました。釜山港は台風接近に伴い、16日(木)夕方から暫定的に稼働停止を決めています。また、上海浦東国際空港では13~14日にかけてフライトが全便欠航となったため、貨物の滞留が発生しており、新型コロナ防疫強化と相まって状況が悪化する可能性があります。

3. 事前の対策について

台風・集中豪雨は一般的に平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能と言われております。

週末に向けて、今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備・すぐに取り出せて使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご利用下さい。



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/> 本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー